

「ねんきんダイヤル」をご利用ください

年金に関する電話でのご相談は、2つの全国共通電話番号「ねんきんダイヤル」で相談をお受けしています。

全国どこからでも、次の番号にお掛けください。

(1) 年金請求に関する相談用

イイロウゴ
0570-05-1165

(2) 年金を受給されているかたの年金相談用

イイロウゴ
0570-07-1165

※源泉徴収票・改定通知書・振込通知書などの再発行の受付も行っていきます。

◆受付時間:(月)～(金)午前9:00～午後4:30まで

「ねんきんダイヤル」は、お客様からの電話を全国の年金電話相談センターなどのうち、回線の空いているところにお繋ぎいたします。

通話料金は一般の固定電話の場合、接続先にかかわらず市内通話料金のみでご利用いただけます。

電話機の設定、PHSなど電話機によってはご利用になれません。お手数ですが他の電話機でお掛け直しいただくか、最寄の社会保険事務所をご利用ください。

国民年金

[問合先]
岐阜南社会保険事務所
☎273-6161



教育委員会
だより

キャリア教育の大切さ

「世の中で一番楽しく立派なことは一生を貫く仕事を持つことである。世の中で一番さびしいことはする仕事がないことである。」これは、福沢諭吉の有名な言葉ですが、近年、自身身の進路を決められない若者や社会に出ることに不安を抱える若者、一人で生きていく自信がない若者が増えてきています。そこで、確かな職業観や勤労観を育むために、学校教育でもキャリア教育を重視するようになりました。

ところで、キャリア教育とは、児童生徒が学ぶこと・働くことの意義や役割を理解し、夢や希望を持って前向きに自己の将来を設計し、自らの意思と責任でよりよい選択・決定を行い、様々な人々とのコミュニケーションを図りながら協力・協働してものごとに取り組み力を育むことをねらいとしています。ですから、中学

生では職場体験などによって実際「働く」ことを体験しながらこれらの力を身につけようとしていますし、小学生においても学校内外で勤労生産やボランティア活動の参加を通じて「働く」喜びや意義を学んでいます。一方、家庭でも家事を分担するなどした労働体験がキャリア教育そのものですし、子どもの責任感や忍耐力などを育む上でも大切なことです。

このように、児童生徒に望ましい職業観や勤労観を育み、職業意識を醸成するには、家庭と学校がキャリア教育の意義を相互に理解し、手を携えて児童生徒とかがわっていくことが極めて大切になってくると言えます。

一生懸命家族の一員として働く小学生や真剣な眼差しで職場体験に励む中学生の姿が町内の各所で観られると素晴らしいですね。